

【テーマ1】 議会機能の最大限の発揮

めざす方向

◎二元代表制の一翼を担っている議会が、その機能を最大限発揮できるよう、円滑かつ効果的な議会運営のサポートを目指します。

会派・議員の政策法務と政務調査活動の充実

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<ul style="list-style-type: none"> ●議員提出の条例案に係る法制面での支援のため、現行制度や関係法令等の情報収集・分析や条文案の法規チェックを行う。 ●法務担当職員の資質向上のため研修を実施するとともに、法制執務にかかる法務課との情報交換・意見交換の場の設定を行う。 ●府政の状況及び主要課題について認識をより深めるため、執行部との情報共有等により、その動向把握と情報収集を行う。 <p>(スケジュール) 随時（5月定例会、9月定例会、2月定例会）</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員提出予定案件に関して法規的なサポートを行う。 ・府政等に関する最新情報を収集するとともに、職員のスキルアップ研修を実施する。 <p>▷◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府政の主要施策を適時・適切に把握するとともに、政策条例づくりを的確にサポートすることにより、政策法務・政務調査活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○政策条例提案に対して、法規チェック等の支援・サポートを的確に行い、9月定例会に2件の条例案が、2月定例会に1件の修正案が提出された。 ○国立国会図書館職員を講師に、政策情報の収集ノウハウを中心に研修会を開催した。このほか、衆議院法制局派遣職員による法制執務研修や政務調査担当職員による議場資料作成の研修を実施した。 ○府政の主要課題について、随時情報収集を行い、職員間の情報共有に努めた。（府政情報の共有強化を実施）

決算審査の効果的活用

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<ul style="list-style-type: none"> ●決算審査をより充実させるため、決算報告書類を検証できる審査日程の確保や予算案審査等へ反映させる決算審査概要資料を作成する。 <p>(スケジュール) 随時（9月定例会、2月定例会）</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算審査概要資料の効果的な作成などを通じて、次年度の予算議論や今後の事業のあり方議論につながるようサポートを行う。 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算審査の概要を次年度の予算案審査に反映させることにより、議会の監視機能等を一層高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○決算審査日程について、決算委員による決算書類の検証期間を十分設定できるよう、概要説明聴取日から部局別審査日までを中11日間、部局別審査間を中3日間、それぞれ確保した。 ○決算審査概要資料を予算審査により活用できるよう、主要事業における施策目標や成果等の情報を新たに記載するなどの改訂を行い、平成29年2月の政調会開催にあわせ、全議員に配付した。 ○議会における監視機能を一層高め、次年度の予算議論や今後の事業のあり方議論につながるよう、府政の重要課題に関する勉強会や視察の企画運営などを通じて会派・議員のサポートに努めた。

災害発生時の的確な対応

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<ul style="list-style-type: none"> ●災害発生時に議会として迅速かつ的確に対応できるよう、指針の取りまとめを行う。 ●災害時応急対応マニュアルによる安否確認訓練を実施する。 <p>(スケジュール)</p> <p>4月 緊急時情報伝達訓練 6月 議員の安否確認訓練、議会对応指針の取りまとめ 9月 避難誘導訓練</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会としての対応指針を取りまとめ、危機管理室をはじめ関係機関と連携を図っていく。 ・議員及び職員の安否確認訓練を通じて、マニュアルの内容を検証する。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に議員から提供される地元の被災状況・支援ニーズ等と危機管理室から提供される支援情報等の相互共有化を図る。 ・マニュアル検証結果を踏まえ必要に応じて改訂を行う。 <p>(数値目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施回数 3回 	<p>○9月の「大阪 880万人訓練」の実施にあわせて、事務局職員による議場での避難誘導訓練を実施した。</p> <p>○議員の安否確認の方法を、これまでのFAXから防災情報システムを使って全議員の携帯・タブレットに「安否確認メール」を配信する方式に変更し、1月の「大阪府地震・津波災害対策訓練」にあわせて、安否確認訓練を実施した。</p> <p>○訓練実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 緊急時情報伝達訓練 ・9月 議場における避難誘導訓練 ・1月 災害時BCP訓練、安否確認訓練

【部局長コメント（テーマ1総評）】

<取組状況の点検>

当初の目標を、ほぼ達成することができました。

<今後の取組みの方向性>

引き続き、円滑かつ効果的な議会運営が実施できるよう的確なサポートに努めます。また、政策条例案の提案を法制面等で支援するとともに、政務調査機能を充実・強化させます。

自己評価

ほぼ達成